

1. 製品及び会社情報


製品名	: CELLiST™ Feed Media
Item No.	: FEED2
会社名	: AJINOMOTO GENEXINE CO., LTD.
住所	: 105, Jisikgiban-ro, Yeonsu-gu, Incheon 21991, KOREA
担当部門	: 経営企画本部
電話番号	: +82-32-210-2600
FAX番号	: +82-32-210-2604

2. 危険有害性の要約

GHS分類		
健康に対する有害性	: 急性毒性(経口)	区分4
環境に対する有害性	: 水生環境急性有害性	区分3
	: 水生環境慢性有害性	区分3

(注) 記載なきGHS分類区分: 該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素

絵表示 : 

注意喚起語 : 警告
 危険有害性情報 : 飲み込むと有害
 長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

安全対策 : 取扱い後は顔や手をよく洗うこと。
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 環境への放出を避けること。
 応急措置 : 飲み込んだ場合、気分が悪い時は医師に連絡すること。
 口をすすぐこと。
 保管 : 非該当
 廃棄 : 内容物/容器は13項を参照し廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	: 混合物
危険有害成分	: 非該当

4. 応急措置

吸入した場合	: 直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。 清浄な水で口の中を十分に洗浄し、必要であれば医師の処置を受ける。
皮膚に付着した場合	: 接触した皮膚を石鹼で十分に洗浄する。 必要であれば、医師の処置を受ける。
目に入った場合	: 直ちに流水で最低15分間洗浄する。洗眼の際、まぶたを指でよく開く。コンタクトレンズを使用している場合は、取り除いて洗浄する。必要であれば、医師の処置を受ける。直ちに流水で充分洗浄する。必要であれば、医師の処置を受ける。
飲み込んだ場合	: 清浄な水で口の中を洗浄し、必要に応じ医師の処置を受ける。
応急処置をする者の保護	: 個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

消火剤	: 散水、二酸化炭素、粉末、泡
使ってはならない消火剤	: 利用可能な情報はない
特有の消火方法	: 現場から待避し、安全な距離から消火活動をする。消火活動は風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消化方法を用いる。
火災時の特有危険有害性	: 粉じん爆発の危険性があるため、粉じんの発生を最低限に抑えること 燃焼時、一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物が放出することがある。
消火を行う者の保護	: 個人用保護具を着用する事。消防士は自給式呼吸器及び消火装備を着用する必要がある。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	: 保護具を使用する。項目8を参照。
環境に対する注意事項	: 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないよう注意する。排水が適切に処理されず環境へ排出しないように注意する。
封じ込め及び浄化方法及び機材	: 飛散したものを掃き集め、密閉できる空容器に回収する。こぼした場所は大量の水で洗い流す。
回収、中和	: 利用可能な情報はなし
二次災害の防止策	: 環境規制に従って汚染された物体場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 項目8に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱い注意事項	: 個人用保護具を着用すること。 環境への放出を避ける。 取扱い後は顔や手を良く洗う。
保管	
適切な保管条件	: 密閉した容器に入れ、冷暗所（2～8℃）で保管する。 湿気、直射日光、高温を避ける。
混触禁止物質	: 利用可能な情報はない

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	: 大量に使用する場合は局所排気措置を設置する。
管理濃度	: データなし
許容濃度 (日本産業衛生学会) (ACGIH)	: データなし : データなし
保護具	
呼吸器の保護具	: 必要に応じて防塵マスクまたは送気マスク
手の保護具	: ゴム製保護手袋
眼の保護具	: 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 長袖保護衣
適切な衛生対策	: 産業安全および安全の基準に基づいて取り扱う。

9. 物理的及び化学的性質

外見	: 白色～帯赤黄色, 粉末
臭い	: データなし
pH	: データなし
融点/凝固点	: データなし
初留点と沸点範囲	: データなし
引火点	: データなし
火炎燃焼性 (固体、気体)	: データなし
上限/下限、引火または爆発限界	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
相対密度	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
粘度	: データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	: 推奨保管条件下で安定。
危険有害反応可能性	: 通常の条件ではなし。
避けるべき条件	: 湿気、高温
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

11. 有害性情報

急性毒性	: データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: データなし
目に対する重篤な損傷性/刺激性	: データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし

発がん性	： データなし
生殖毒性	： データなし
特定標的臓器特性（単回暴露）	： データなし
特定標的臓器特性（反復暴露）	： データなし
吸引性呼吸器有害性	： データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	： 利用可能な情報はない
残留性・分解性	： 利用可能な情報はない
生体蓄積性	： 利用可能な情報はない
土壌中の移動性	： 利用可能な情報はない
オゾン層への有害性	： 利用可能な情報はない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	： 廃棄は国、地域、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。
汚染容器及び包装	： 廃棄は国、地域、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

14. 輸送上の注意

ADR/RID（陸上）	： 規制されていない
IMDG（海上）	： 規制されていない
IATA	： 規制されていない
輸送の特定の安全対策及び条件	： 湿気、高温および容器の破損を避けること。 取扱いおよび保管上の注意の項の記載にも注意する。

15. 適用法令

消防法	： 非該当
毒物及び劇物取締法	： 非該当
労働安全衛生法	： 非該当
化学物質管理促進法（PRTR法）	： 非該当

16. その他

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施のうえ、ご利用ください。

また、法令の改正や新しい知見に基づいて改定されることがあります。

※このSDSはAjinomoto社で作成したSDSを参照し作成しました。